



町長の行政報告をお知らせします

八峰町12月議会定例会が15日から17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

12月議会定例会に提出した主な議案

■あらたに生じた土地の確認について

■字の区域の変更について

■一般会計補正予算
7,056万9千円を追加
主な歳出
生活バス路線等維持費補助金
地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金

国民健康保険特別会計繰出金
後期高齢者医療特別会計繰出金
菌床シイタケ価格補償制度への加入に伴う負担金
松くい虫防除委託料
各小学校の教材備品購入費
雇用創出基金積立金など

■特別会計補正予算

八峰町国民健康保険事業
八峰町介護保険事業
八峰町後期高齢者医療
八峰町営簡易水道事業
八峰町公共下水道事業
八峰町農業集落排水事業
八峰町営診療所

大規模災害時等における水道の復旧等の応援体制等に関する協定を締結

11月1日、能代山本水道管工事業協同組合と「大規模災害時等における水道の復旧等の応援体制等に関する協定」を締結しました。万が一、町に大規模な災害や事故が発生した場合、水道の復旧作業の応援や簡易救急器具の貸与、その他可能な範囲での支援をしていただくことにしています。



大規模災害時等における水道の復旧等の応援体制等に関する協定書 締結式

合同消火訓練を実施 768日、無火災継続中

秋の火災予防運動が始まった11月7日、本館地区において消防団、地域住民、八峰消防署の合同消火訓練を実施しました。訓練には1

らが車座になって網に掛かったハタハタを外す光景が見られたほか、海岸には多くの釣り客が押し寄せました。漁獲量が順調に推移し、当町の産業に好影響を及ぼすよう期待しています。



菌床シイタケ 加入負担金の3分の1を助成

J A 秋田やまもとの平成21年度青果物等販売実績によると、八峰町産の菌床シイタケは8億6千万円余りで、数年前からJ A 出荷青果物等のトップで町の主要作目となつていきます。

しかし、昨年6月から夏場の平均単価が急落し、生産農家の経営を圧迫しているため、J A と菌床シイタケ生産部会が協議した結果、



00人余りが参加し、夕映えの館付近で住民による初期消火訓練と、消防団員、消防署員による放水訓練を行いました。ときおり雨が降る中、訓練に参加した町民は真剣に消火器を操作していました。

町民の普段からの気配りや消防団、消防署員の活動によって、当町は12月1日現在で768日無火災継続中です。冬に入り暖房器具が毎日使用されるようになり、火災も心配される時期になりましたが、今後も町民と一体となって無火災を続けていくよう取り組みます。

子ども園統合検討委員会 年内に検討結果を提言

6月3日、園児の保護者代表や自治会長など14名で構成する検討

価格補償制度に加入し経営の安定化を図ることにしました。国の補助事業の「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」に5月から10月出荷分について、加入することになりました。

菌床シイタケは、町の主要作目であり、町の雇用拡大にも貢献していることから、これ以上の生産量の減少を抑えるため、町で生産者の加入負担金の3分の1を助成することにしました。

住宅リフォーム緊急支援事業 申請件数は239件に到達

住宅リフォーム緊急支援事業における11月末現在の申請件数は、239件で、事業費は、4億7,500万円、町補助金の申請額は、5,430万円余りとなっています。

工種では、屋根葺き替えなどの板金工が64件、下水道や合併処理浄化槽への接続など排水工が49件、システムキッチンやユニットバスなどの設備交換が44件となっており、町内建築業者の受注が拡大したことから、地域経済の活性化に大きな効果をもたらしたのと思つていきます。

平成22年度「出前美術館」 埴川小学校を会場に開催

平成22年度「出前美術館」が県立近代美術館と町教育委員会の主

委員会を立ち上げました。月1回のペースで検討会を開催し、11月29日までに6回の検討会開催をもって検討作業を終えました。この間、子ども園を取り巻く環境について担当職員の説明を受けたほか、県の担当職員を講師に「認定子ども園制度」に理解を深める研修会の開催、さらに、園舎を新築し本年度から認定子ども園としてスタートした男鹿市の「船川保育園」と、施設統合の先進事例として三種町の「琴丘保育園」を視察してきました。

現在、検討結果を整理し、年内に報告書という形でご提言をいただくことになっています。

季節ハタハタ漁 浜に活気

県水産振興センターでは、今季は沿岸水温がやや高めに推移していることから、季節ハタハタの接岸は予想より遅れる可能性があるとしておりましたが、その予想通り、解禁された11月25日以降ほとんど水揚げがない状況が続きましたが、12月1日に八森漁港で県内では最も早い8・2キロの初水揚げとなり、その後12月6日には本隊が接岸し、八森、岩館漁港で約14トンの水揚げとなるなど一気に浜が活気づきました。

漁港周辺では漁業者やその家族

催で10月5日から10日までの6日間、埴川小学校を会場に開催しました。

これは、学校を会場とした美術展を開催することによって、県立美術館から遠距離にある地域の園児、児童・生徒、町民へ美術館所蔵作品の鑑賞体験を提供するもので、福田豊四郎の「軍鶏(しゃも)」、勝平得之の「秋田風俗十題」など絵画・版画・工芸部門40点、高田博厚の「女優のマスク」などプロンズの彫刻4点、杉山明博の「木のオブジェ」など4点、合計48点の作品が展示されました。

期間中は町内の小中学校の児童・生徒のほか、ことぶき大学や一般町民の方々も多数訪れ、貴重な鑑賞体験をしました。

